

入 学 生
各位
保 護 者

(令和 8 年度 4 月入学者用)

長岡技術科学大学教育振興会理事長

長岡技術科学大学教育振興会事業助成金について（お願い）

このたびは、長岡技術科学大学に合格おめでとうございます。

長岡技術科学大学は、学部から大学院修士課程までの一貫教育体制の下、実践的・創造的能力を備え、社会の変化に柔軟に対応できる、人間性に富んだ指導的技術者の育成を目指しております。

近年における長岡技術科学大学の活躍は目覚ましく、令和 7 年には文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択されました。

長岡技術科学大学はこれまでにもツイニング・プログラムやダブルディグリープログラムなどの特色ある教育プログラムによる留学生の受け入れや、海外実務訓練等による日本人学生の海外派遣などを積極的に行うなど、先駆的な取組を通じ、技学（技術科学）に基づく教育・研究の海外展開をさらに促進させ、世界を牽引する実践的技術者教育の実現を目指しています。

また、長岡技術科学大学は、2026 年（令和 8）年 10 月 1 日に開学 50 周年を迎えます。大きな節目を迎ますが、長岡技術科学大学のモットーである VOS、すなわち学理と実践の不断のフィードバックを遂行する活力（V）、技学（技術科学）に関する創造的能力の啓発（O）、技学をもって人類の幸福と持続的発展に向けた奉仕（S）の精神を肝に銘じ、“考え出す大学”をより一層深化させ、今後も地域社会及びグローバル社会に不可欠な大学を目指します。

本教育振興会は、長岡技術科学大学の学生の福利厚生および親睦を図り、大学における教育・研究の振興に寄与することを主目的として、入学生保護者様からの助成金により設立・運営され、学生の課外活動、教育研究の助成を中心に幅広い事業を展開し、長岡技術科学大学の活動を支援しております。

つきましては、本会の趣旨を御理解いただき、本会が遂行する事業の助成金として 1 口 2 万円をお寄せいただきたくお願いする次第です。なお納入につきましては甚だ勝手ながら、入学後、授業料等とともに預金口座振替とさせていただきますので、ご了承くださるよう併せてお願い申し上げます。

【担当窓口及びお問い合わせ】

長岡技術科学大学 総務課 総務係

TEL 0258-47-9203 FAX 0258-47-9000

E-mail so-soumu@jcom.nagaokaut.ac.jp

※お寄せいただきました助成金は、裏面に記載した事業に助成させていただいております。
何卒みなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。

【裏面表記あり】

令和6年度 長岡技術科学大学教育振興会事業報告

事 業 名	決算額(円)	備 考
I 助成費	<u>11,640,373</u>	
1. 福利厚生助成費(学生及び教職員等の福利厚生に必要な助成)	3,002,526	
(1) 卒業・修了祝賀会経費の助成	621,000	
(2) 「卒業証書」表紙(カバー)に係る経費の助成	496,650	
(3) 学生の「食」に対する助成	922,200	
(4) 地域社会との交流に対する助成(主として深沢、才津地区の町内会等)	15,800	
(5) メディカルアシスタンスサービス	911,776	
(6) その他(外国人による日本語スピーチコンテストに対する助成、学生用図書購入費等)	35,100	
2. 課外活動助成費(学生の課外活動等に必要な助成)	7,516,945	
(1) サークル活動助成費	4,699,884	
(2) 学内体育大会助成費	0	
(3) 技大祭助成費	2,200,000	
(4) 長岡まつり参加助成費	517,995	
(5) 各大会等参加助成費	0	
(6) トレーニング機器購入費	99,066	
3. 教育研究助成費(各専攻・課程における学生と教員との懇談会経費の助成、卒業・修了生への謝恩会経費の助成等)	854,902	
(1) 機械、電気(予算額@250,000×2専攻)	0	
(2) 環社(予算額@170,000)	0	
(3) 物質生物(予算額@280,000)	0	
(4) 情報・経営(予算額@110,000)	0	
(5) 量子原子力、技学イノベ、システム安全(予算額@70,000×3)	0	
4. 特別助成費(学生・教職員に対するその他助成費、慶弔費等)	266,000	
(1) 葬儀生花代等	0	
(2) アルビレックス新潟後援会法人年会費	96,000	
(3) 学生表彰団体等への記念品補助	50,000	
(4) 市道西幹線42号線融雪施設維持管理負担金	70,000	
(5) ドナルド・キーンセンター柏崎法人賛助会員費	50,000	
II 運営費	<u>113,850</u>	
(1) 事務費(各種振込手数料、会計ソフト更新費等)	113,850	
III 積立金	<u>817,500</u>	
(1) 記念事業、国際交流に対応するための積立	600,000	
(2) 不測の事態等に対応するための積立	150,000	
(3) 留学生受入れに伴う支援事業に対応する積立	67,500	
IV 予備費	<u>0</u>	
合 計	12,571,723	